

「コジ・ファン・トゥツテ」参考資料のご案内

新国立劇場での観劇前に作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

公演プログラム

2010/2011 SEASON **コジ・ファン・トゥツテ** (2011.5) ダミアノー・ミキエレット演出によるプロダクション。

2004/2005 SEASON **コジ・ファン・トゥツテ** (2005.3)

2010/2011 SEASON **コジ・ファン・トゥツテ** (2006.2) コルネリア・レブシュレーガー演出によるプロダクション。

参考図書

<楽譜> **Cosi fan tutte** Berenreiter 1991年発行 フル・スコア
Cosi fan tutte Breitkopf 1985年発行 ヴォーカル・スコア

<対訳> **モーツァルト コジ・ファン・トゥツテ (名作オペラブックス 9)**

アッティラ・チャンパイ ディートマル・ホラント＝編／音楽之友社 1988年発行

リブレットの対訳から、作曲の経緯、初演時と20世紀の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

モーツァルト コジ・ファン・トゥツテ (オペラ対訳ライブラリー) 小瀬村幸子＝訳／音楽之友社 2002年発行

台本テキストを数行単位で原語と日本語訳交互に記載。イタリア語の文法解説つき。

コジ・ファン・トゥツテ 第二改訂版 (イタリアオペラ対訳双書 6)

河原廣之、かわはら洋＝訳／アウラ・マーニャ イタリアオペラ出版 1991年発行

魅惑のオペラ<6> コジ・ファン・トゥツテ ミラノ・スカラ座 小学館 2008年発行

対訳つき解説BOOK。(DVDは視聴できません)

Cosi fan tutte W.A.Mozart Bruce Alan Brown／Cambridge University Press 英語 1995年発行

<作品解説>

モーツァルトとオペラの政治学 三宅新三＝著／青弓社 2011年発行

貴族社会から市民社会への転換期に生きた芸術家モーツァルト。彼のオペラの根底には愛と結婚をめぐる新旧社会の規範の対立や葛藤というエロスの問題が横たわっている。その諸相を『コジ・ファン・トゥツテ』を含む七大オペラを通して読み解く。

モーツァルトはオペラ 歌芝居としての魅力をさぐる 西本晃二＝著／音楽之友社 2006年発行

『コジ・ファン・トゥツテ』を含む後期のオペラ9作品を、台本から、歌詞、演出、字幕スーパーまで、縦横に論じる。

ロココの裏の欲望 モーツァルトのオペラワールド 永竹由幸＝著／株式会社ショパン 2006年発行

優雅、華麗なロココ社会の裏に潜む人間のデモニッシュな欲望をあばいたモーツァルトのオペラ7作品の解説。

モーツァルト 魔法のオペラ アニー・パラディ＝著／武藤剛史＝訳／白水社 2005年発行

緻密な作品分析に加えて、書簡を丹念に読み込み、オペラに呼応する形でひそかに演じられていた実人生の物語を愉快感にあふれた文体で綴ったユニークなモーツァルト論。

モーツァルト オペラのすべて 堀内修＝著／平凡社 2005年発行

生涯のうちに22ものオペラ作品を生み出したモーツァルトは、オペラをどのように考え、そして何を目指したのか。200年以上にわたり世界中で最も愛されてきた彼のオペラ全作品のあらすじ、聴きどころを紹介した初めての書。

モーツァルトのオペラ ルードルフ・アンガー・ミュラー＝著／吉田泰輔＝訳／音楽之友社 1991年発行

モーツァルトの22のオペラの作曲の経緯、初演から今日までの流れを追うことにより、時代とともに変容するモーツァルトのオペラ的全貌を明らかにする。収録写真・図版約360点。没後200年を記念して出版された。

モーツァルトのオペラ エドワード・J・デント＝著／石井宏、春日秀道＝訳／草思社 1985年発行

『コジ・ファン・トゥツテ』を含むモーツァルトのオペラ7作品について、それまでのドイツ的、弁証法的音楽美学から解放し、現代的解釈への道をひらいた画期的労作。作品誕生にまつわる数々のエピソードも豊富。

モーツァルト II (作曲家別名曲解説ライブラリー14) 音楽之友社 1994年発行

オペラ、魅惑する女たち ジャン・スタロバンスキー＝著／千葉文夫＝訳／みすず書房 2006年発行

<作曲家関連>

モーツァルトの虚実 その生と死 海老澤敏＝著／ペリかん社 2011年発行

天才か、遊び人か、はたまたギャンブラーか。その死は、病死なのか他殺なのか。モーツァルトとは何だったのか。社会史の視点をとり入れて描く、生活者としてのモーツァルト像。

モーツァルトの脳 ベルナル・ルシュヴァリエ＝著／藤野邦夫＝訳／生駒忍＝解説／作品社 2011年発行

「天才脳」の仕組みを最新の脳神経科学で解剖。さらに、人生経験や感情の観点から、本人の手紙や関係者の証言などを読み解き、「天上の音楽」の秘密を明らかにしていく。

新潮選書 恋愛哲学者モーツァルト 岡田暁生＝著／新潮社 2008年発行

絶対王政の没落と近代市民社会の到来という時代の亀裂の中でモーツァルトのオペラは華ひらき、バロック・オペラの予定調和的な世界を破壊し、男と女のエロスを歌った。《魔笛》を含む五つの傑作群をひとつの「恋愛チクルス」として読み解く、新たな音楽＝文化論。

モーツァルトの廻廊—MOZART CHRONICLE 2006 海老澤敏＝著／春秋社 2008年発行

とこしえの美しい響きに導かれて…モーツァルト受容の現在。“モーツァルト・クロニクル”最新論集。

モーツァルトの手紙 高橋英郎＝著／小学館 2007年発行

天才モーツァルトと父レーオポルトとの数百通の書簡を読み解いた大作。モーツァルトが幼少の頃より旅したヨーロッパ各地の地図、旅程表を集録、詳しい人物註付き。

モーツァルトの音符たち 池辺晋一郎の「新モーツァルト考」 池辺晋一郎＝著／音楽之友社 2002年発行

天才モーツァルトの魅力の謎を、人気作曲家・池辺晋一郎が斬新、大胆に説き明かす。

モーツァルト(作曲家◎人と作品シリーズ) 西川尚生＝著／音楽之友社 2005年発行

モーツァルトの生涯 海老沢 敏＝著／白水社 1984年発行

<事典>

モーツァルト百科全書 福島章恭＝著／毎日新聞社 2006年発行

人生の哀しみを珠玉の名曲に結晶させたモーツァルト。その35年にわたる破天荒な生涯をたどりながら、折々に産み落とされた名曲を選びすぐりのCDで堪能する。モーツァルト生誕250周年記念出版。

モーツァルト全作品事典 ニール・ザスロー ウィリアム・カウデリー＝編／音楽之友社 2006年発行

モーツァルトの全作品についての歴史的エッセイを選び集成した、音楽愛好家のための利用しやすい参考書。

モーツァルト大事典 ロビンズ・ランドン＝原著監修／海老沢敏＝日本語版監修／平凡社 1996年発行

公演記録映像

コジ・ファン・トゥツテ (2005.3.21) 【字幕入り】

フィオルデイリッジ：ヴェロニク・ジャンス、ドラベッラ：ナンシー・ファビオラ・エッラ、フェルランド：グレゴリー・トウレイ、グリエルモ：ルトルフ・ローゼン

コジ・ファン・トゥツテ (2006.2.6) 【字幕入り】

フィオルデイリッジ：リカルダ・メルベス、ドラベッラ：エレナ・ツイトコワ、フェルランド：高橋淳、グリエルモ：ルトルフ・ローゼン

コジ・ファン・トゥツテ (2011.6.5) 【字幕入り】

フィオルデイリッジ：マリア・ルイジア・ホイシ、ドラベッラ：ダニエラ・ペーニ、フェルランド：グレゴリー・ウオーレン、グリエルモ：アドリアン・エレート

新国立劇場オペラ研修所 コジ・ファン・トゥツテ (2001.2.1) 【字幕入り】 第3期生出演

DVD

コジ・ファン・トゥツテ (83 ドレスデン国立歌劇場)

フィオルデイリッジ：ドロテア・レッシュマン、ドラベッラ：カテリーナ・カンマーローアー、フェルランド：ヴェルナー・キューラ、グリエルモ：ハンノ・ミュラー＝ブラッハマン

コジ・ファン・トゥツテ (88 ウィーン国立歌劇場)

フィオルデイリッジ：エディタ・ガルベローヴァ、ドラベッラ：テローレス・ジューグラー、フェルランド：ルイス・リマ、グリエルモ：フェルッチョ・フルラネット

コジ・ファン・トゥツテ (00 チュールヒ歌劇場)

フィオルデイリッジ：チェチーリア・バルトリ、ドラベッラ：リリアーナ・ニキータヌ、フェルランド：ロベルト・サッカ、グリエルモ：オリバー・ウイドマー

コジ・ファン・トゥツテ (02 ベルリン国立歌劇場)

フィオルデイリッジ：アンナ・プーサル、ドラベッラ：エリーザベト・ヴィルケ、フェルランド：アルミン・ウーテ、グリエルモ：アントレーアス・シヤイブナー